

(第2回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年2月20日
契約業者名	洋伸建設株式会社
契約業者の住所	広島県広島市中区上八丁堀4番1号
工事の名称	広島港宇品地区岸壁(-12m)改良工事
工事場所	原契約のとおり
工事区分	港湾土木工事
工事概要	別添工事数量総括表のとおり
工期(自)	原契約のとおり
工期(至)	原契約のとおり
変更前の契約金額	230,450,000円(税込)
変更金額	22,000,000円(税込)
変更後の契約金額	252,450,000円(税込)
変更理由	別添変更理由書のとおり

工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認及の対象数量ではない。

工事数量総括表

工事名	広島港宇品地区岸壁(-12m)改良工事(変更2回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁(-12m)
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
岸壁(-12m)						(参考数量)	
構造物撤去工							
取壊し工							
コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート(鋼矢板部)	m3	193	163	△ 30	運搬処分(有筋)163m3	
	無筋コンクリート(鋼矢板背面・鋼管杭中詰)	m3	15	16	1	運搬処分(無筋)16m3	
撤去工							
石材撤去	被覆石 50~300kg/個 10m未満	m3	1,972	2,042	70	運搬処分(被覆石)3,520m3	
	被覆石 50~300kg/個 10~15m未満	m3	1,069	1,478	409		
	鋼矢板撤去	YSP-Ⅲ型 L=1.63m(平均長)	m	37	41	4	1,422kg,運搬1式(現場発生品)
	腹起撤去	2[-125×65×6	m	0	60	60	1,600kg,運搬1式(現場発生品)
	鋼管杭撤去	φ508×9.5t L=1.40m	m	0	6	6	655kg,運搬1式(現場発生品)
上部工							
上部コンクリート工							
支保	支保組立組外(鋼矢板式)	m	37	36	△ 1	潮間補正	
足場	鋼製枠組足場架払(鋼矢板式)	m2	98	99	1	内17m2 潮間補正	
	単管足場	掛m2	39	43	4		
鉄筋	SD345 D13 エポキシ樹脂塗装	kg	4,626	4,863	237	現場鋼材溶接 55m 内205kg 潮間補正	
	SD345 D16 エポキシ樹脂塗装	kg	131	135	4		
型枠	鋼製型枠組立組外	m2	233	235	2	内13m2 潮間補正	
	木製型枠組立組外	m2	30	37	7		
	鋼製型枠組立組外(水中)	m2	0	3	3		
伸縮目地	瀝青質系 t=10mm	m2	25	26	1		
アンカーバー	D35×1,970mm	本	原契約のとおり				
コンクリート	24N-8-20BB	m3	213	217	4	内17m3 潮間補正	
均しコンクリート(1)	18N-8-20BB	m3	0	6	6		
均しコンクリート(2)	18N-8-20BB	m3	0	1	1	区間5端部	
差筋	D13(SD345),L=350mm	本	0	7	7		
あと施工アンカー	φ16,L=100mm	本	0	7	7		
清掃(下地処理)		m2	0	171	171	運搬処分 1式	

工事数量総括表

工 事 名	広島港宇品地区岸壁(-12m)改良工事(変更2回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁(-12m)
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
土工							
土工							
掘削	RC-40	m3	36	23	△ 13		
盛土	RC-40	m3	212	249	37	流用 23m3	
中詰材	RC-40	m3	0	69	69	鋼管矢板中詰	
作業土工							
床掘	RC-40	m3	0	13	13		
	土砂	m3	0	4	4		
埋戻し	RC-40	m3	0	13	13	流用	
土砂等運搬	施工箇所～土砂仮置場	m3	0	4	4		
雑工							
防塵対策工							
防塵対策	散水	m2	原契約のとおり				
	防塵フェンス	式	0	1	1		
栈橋移設・復旧							
栈橋移設・復旧		式	原契約のとおり				
仮設工							
大型土のう工							
大型土のう設置	耐候性(3年)	袋	} 原契約のとおり				
大型土のう撤去	耐候性(3年)	袋					
土砂等運搬	施工箇所～土砂仮置場	m3					
処分費							
廃プラスチック		m3					
共通仮設							
共通仮設費							
回航・えい航費							
えい航	バックホウ浚渫船	式	} 原契約のとおり				
運搬費							
仮設材等運搬		式					

工事数量総括表

工 事 名		広島港宇品地区岸壁(-12m)改良工事(変更2回)				事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁(-12m)
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
事業損失防止施設費							
水質汚濁防止膜	垂下型、φ400	式	1	1	△ 1		
汚濁防止枠	14m×14m	式	1	1	△ 1		
安全費							
標識	灯浮標10-P型	式	1	1	1		
安全対策	安全監視船FRP D180PS型	式	1	1	△ 1		
技術管理費							
技術管理費		式	1	1	1	間接工事費等諸経費動向調査 施工実態調査 ICT活用施工管理モデル工事	
現場環境改善費							
現場環境改善費		式	0	1	1	快適トイレ	

変 更 理 由 書

1. 工 事 名 広島港宇品地区岸壁(-12m)改良工事
2. 工 期 令和7年5月27日 ～ 令和8年2月26日
3. 請 負 金 額 当 初 205,700,000 円
変更1回 230,450,000 円
4. 変 更 理 由

本工事は、宇品地区岸壁(-12m)の構造物撤去工、雑工及び仮設工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) 共通仮設費(技術管理費):施工実態調査の追加
施工実態調査の対象工事となったため、同調査を追加する。
- 2) 雑工:防塵フェンスの追加
防塵対策として、防塵フェンスを設置する必要が生じたため追加する。
- 3) 構造物撤去工:コンクリート取壊しにおける既設構造物の断面変更
現地確認の結果、取壊しを行うコンクリートの形状が設計図書と異なること、また鋼矢板の背面部に腹起しが設置されていることが判明した。したがって、コンクリート取壊し数量の変更および腹起撤去の追加を行う。
- 4) 上部工、土工:既設鋼管矢板の位置変更
現地にある既設鋼管矢板が図面上の位置と異なることが判明したため、現地位置に合わせた上部工及び土工数量に変更する。
- 5) 上部工:かき落としの追加
現地確認の結果、鋼管矢板にかきがついており、施工の支障となることが判明したため、かき落とし作業を追加する。
- 6) 構造物撤去工:既設鋼矢板及び既設鋼管杭の撤去追加
既設鋼矢板及び既設鋼管杭の一部が上部工施工に伴う足場の設置に支障となることが判明したため、撤去する。
- 7) 上部工:均しコンクリートの追加
土工の掘削完了後、床付面が潮の干満による洗掘を受けており、その後の上部工の施工に支障となるため、均しコンクリートの追加を行う。
- 8) 既設鋼管矢板中詰の追加
既設鋼管矢板内部において、上部工コンクリート打設面より下部が空洞であることが確認されたため、中詰の追加を行う。
- 9) 上部工:区間5端部における床付面施工の追加
TYPE10の終点部において、床付面がなく上部コンクリートの施工ができないため、床付面の施工を追加する。
- 10) 構造物撤去工、被覆・根固工:石材撤去数量の変更
石材撤去における数量及び範囲が確定したため、数量を変更する。
- 11) 上部工:既設取合部の変更
本工事は施工により新設上部工端部の位置が確定したことから、その位置まで既設上部コンクリートを復旧する。
- 12) 上部工:潮間補正の適用
上部工施工にあたり潮位の影響を受ける作業について、潮間補正を適用する。
- 13) 共通仮設費(技術管理費):ICT活用施工管理モデル工事に要する費用の計上
本工事の実施にあたりICTの活用を確認したため、その費用を計上する。
- 14) 共通仮設費(現場環境改善費):快適トイレに要する費用の計上
快適トイレの設置を確認したため、その費用を計上する。